

フォトエッセイ
練習帆船

日本丸

横浜駅近くに用ができて出かけたが
次まで4時間あいてしまった
そうだ、日本丸を見に行こう
よくあるパターンで
近いからと今までパスしていたな

2023. 4. 14

島田祥生



乗船してまず目についたのは
デッキが全く傷んでいないこと

ロープは言うに及ばず
すべてのものが整然と機能的に配置されている



毎日1時間のヤシの実を使っテッキ磨き
テッキに使っているチーク材の厚さが
55年でこのように薄くなった







どのロープが何かなど書いていないが
そんなのを読んでいるようでは
役に立たないのでしょね



**ブリッジ、操舵室とあったがここは、入港後の機関航行時のみ使うとかなるほど、航海時は機関は使わないんだ
えっ、では、帆走時はどこで操船するの**



操舵室の内部

奥は海図室

両側の壁の棚には、信号旗がいっぱいある

帆走時でもここが指揮所に変わりがないうだ



錨がごろいと置いてある
巻き上げのウインチが見当たらない

この船、謎だらけテス



「鶴」と愛称が付いた錨用のクレーン
でも、動力はない
確かに練習船だから
全て人手で作業をするのか



練習生の居室 2段ベッドが4つ

この部屋で半年の航海を共にする

精神的にも人間的にも鍛えられたと

案内の方が、懐かしそうに話してくれました

練習生の食堂兼、教室兼、寄港時の交流室
机も椅子の固定していない
海が荒れたらどうなるのか
テーブルには落下防止の縁もない
ないないづくし





ミュージアム
ショップ
OPEN

床が舷側に向かって下がっている 要は平らでない
ボランティアの案内の方(卒業生でした)が言うには
帆走時、船は風を斜めから受けるように走るために必ず傾いている
だから、床は平らな必要はないそうです
ついでながら、帆船は風がないと走れないので風つまり低気圧を探して走る
船は常に揺れていて45度傾くこともあって
それでも作業があり、しっかり鍛えられましたと



練習生70名、最大100名用の調理室
太平洋横断は42日間無寄港
食事は美味しかったか、聞きそびれたか、聞くのは野暮ですよ

真水は、調理、飲用のため
洗濯やシャワーは勿論海水、最後にごく少量使うだけとか

調理室
GALLEY
 厨房 조리실

調理室配置図
 Galley Arrangement

① 調理台 (150人分)
 Cooktop (150 people)

② 下櫃
 Cabinet

③ 調理台
 Cooktop (150人分)

④ 湯丁入れ
 Kitchen Pots Rack

⑤ 下櫃
 Cabinet

⑥ 調理台
 Cooktop (150人分)

⑦ 湯丁入れ
 Kitchen Pots Rack

⑧ 下櫃
 Cabinet

⑨ 調理台
 Cooktop (150人分)

⑩ 湯丁入れ
 Kitchen Pots Rack

⑪ 下櫃
 Cabinet

⑫ 調理台
 Cooktop (150人分)

⑬ 湯丁入れ
 Kitchen Pots Rack

⑭ 下櫃
 Cabinet

⑮ 調理台
 Cooktop (150人分)

⑯ 湯丁入れ
 Kitchen Pots Rack

⑰ 下櫃
 Cabinet

⑱ 調理台
 Cooktop (150人分)

⑲ 湯丁入れ
 Kitchen Pots Rack

⑳ 下櫃
 Cabinet

㉑ 調理台
 Cooktop (150人分)

㉒ 湯丁入れ
 Kitchen Pots Rack

㉓ 下櫃
 Cabinet

㉔ 調理台
 Cooktop (150人分)

㉕ 湯丁入れ
 Kitchen Pots Rack

㉖ 下櫃
 Cabinet

㉗ 調理台
 Cooktop (150人分)

㉘ 湯丁入れ
 Kitchen Pots Rack

㉙ 下櫃
 Cabinet

㉚ 調理台
 Cooktop (150人分)

㉛ 湯丁入れ
 Kitchen Pots Rack

㉜ 下櫃
 Cabinet

㉝ 調理台
 Cooktop (150人分)

㉞ 湯丁入れ
 Kitchen Pots Rack

㉟ 下櫃
 Cabinet

㊱ 調理台
 Cooktop (150人分)

㊲ 湯丁入れ
 Kitchen Pots Rack

㊳ 下櫃
 Cabinet

㊴ 調理台
 Cooktop (150人分)

㊵ 湯丁入れ
 Kitchen Pots Rack

㊶ 下櫃
 Cabinet

㊷ 調理台
 Cooktop (150人分)

㊸ 湯丁入れ
 Kitchen Pots Rack

㊹ 下櫃
 Cabinet

㊺ 調理台
 Cooktop (150人分)

㊻ 湯丁入れ
 Kitchen Pots Rack

㊼ 下櫃
 Cabinet

㊽ 調理台
 Cooktop (150人分)

㊾ 湯丁入れ
 Kitchen Pots Rack

㊿ 下櫃
 Cabinet

This is the kitchen on the ship. Including a late-night meal, around 10 stewards cook meals for well over 100 crews. It is particularly stressful in particular when the ship leaves the port.



士官の食堂兼サロン
この机は固定されている
落下防止も縁もしっかりとある
座る位置も決まっているとか
明り取りの天井には、日本丸のステンドグラスがあった



上部甲板への階段
しゃれた作り

練習生の居室甲板とここの間にも同じものがある
向かいの部屋は、通信長室



帆走時の舵輪が船尾にある
帆の状態がよくわかるのでこの位置にあるそうです

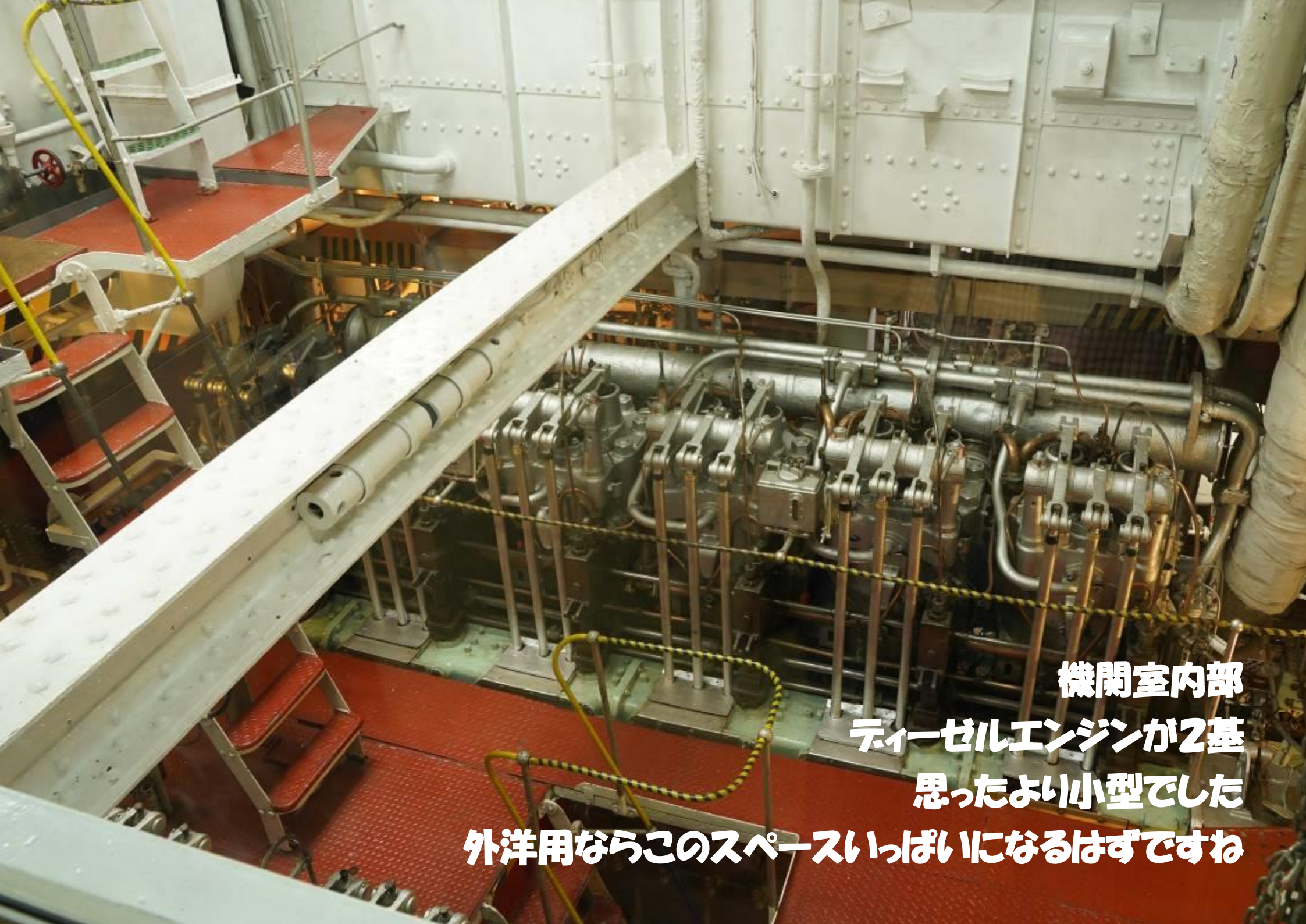
彼の4人は、船中くまなく歩きまわっていた
真剣な様子に、船の検査をしているようだ
そういえばこの船、現役のはず



日本丸の船尾

嵐の時でも、あの舵輪は離せない

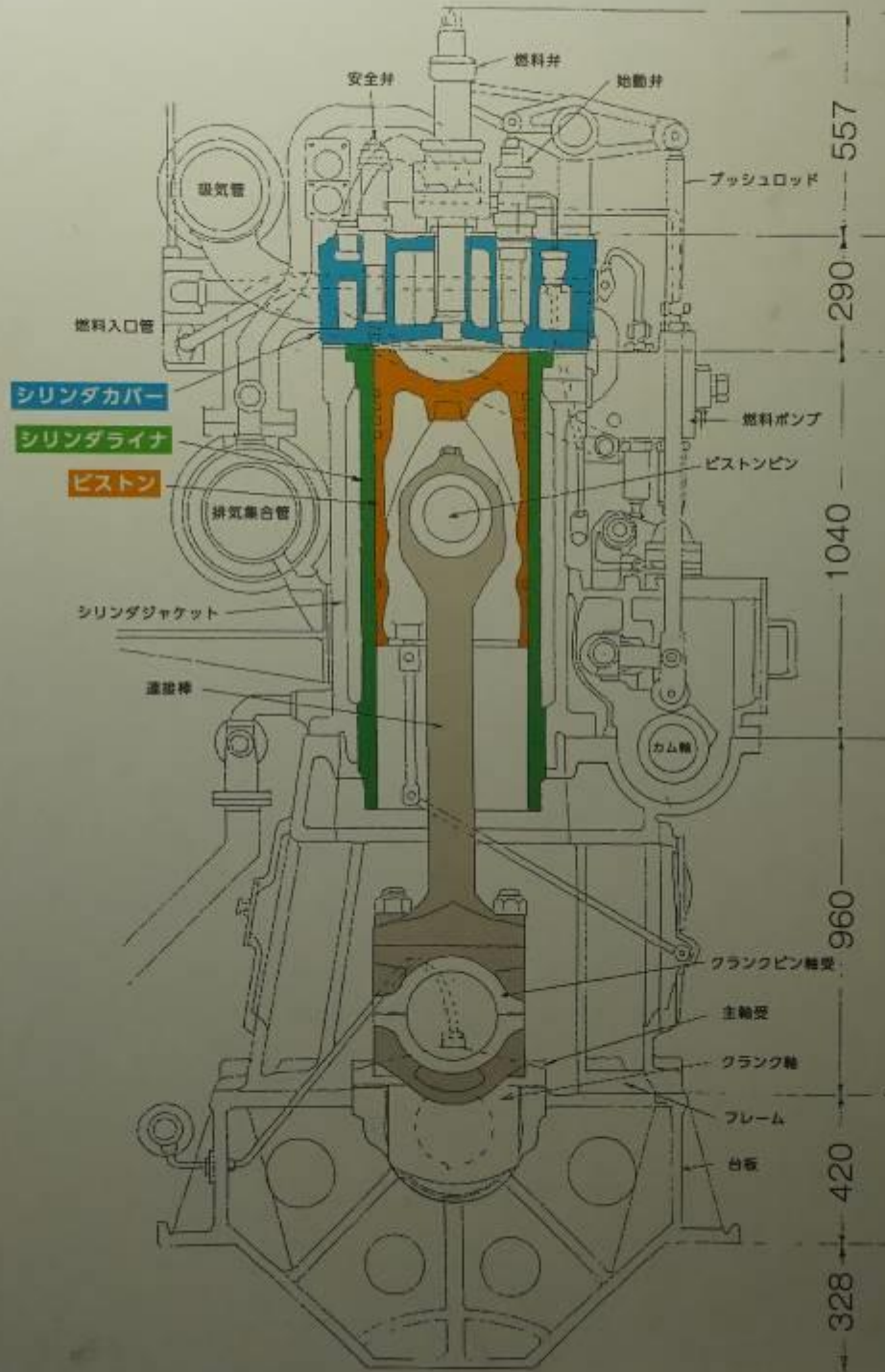
想像しただけでも凜とした印象的眺めだと思いませんか



機関室内部
ディーゼルエンジンが2基
思ったより小型でした
外洋用ならこのスペースいっぱいになるはずですね

日本丸 主機関断面図

(株)池貝鉄工所 1930年製造



年代
Year

日本丸
Nippon Maru

1928(昭和3)年 April, 1928	4月 April, 1928	全国の公立商船学校用の文部省大型練習帆船2隻の建造予算成立。総額187万4,600円。 Construction budget for two large sail training ships of Ministry of Education for public mercantile marine schools in Japan approved. Total Budget: ¥1,874,600.
1929(昭和4)年 January 11, 1929	1月11日 January 11, 1929	神戸の川崎造船所が2隻の建造工事落札。 Kawasaki Shipbuilding Co. in Kobe succeeded in public bidding for construction of the two ships.
	4月17日 April 17	第1船竜骨据付工事。 Keel construction of the first ship.
1930(昭和5)年 January 27, 1930	1月27日 January 27, 1930	第1船進水、日本丸と命名。 First ship launched and christened Nippon Maru.
	2月14日 February 14	第2船進水、海王丸と命名。 Second ship launched and christened Kaiwo Maru.
	3月31日 March 31	日本丸竣工、引き渡し。 Nippon Maru completed and delivered.
	6月1日 June 1	文部省航海練習所設置。日本丸・海王丸所管。 School for Sea Training of Ministry of Education established. Nippon Maru and Kaiwo Maru put under control of the center.
	7月7日 July 7	短期国内航海を4回実施し、慣熟運転完了。 Completes shakedown cruise after four short domestic cruises.
	10月4日 October 4	第1次遠洋航海に出帆。東京～横浜～ポナペ～横浜～東京(12月3日帰着)。以後、日本丸・海王丸は夏季に北米西岸・ハワイ、冬季に南洋群島方面へ遠洋航海。必要に応じて短期国内航海を行う。 Sets sail for first long-distance voyage; Tokyo-Yokohama-Ponape-Yokohama-Tokyo (arrives on Dec.3). Hereafter Nippon Maru and Kaiwo Maru set sails for long-distance voyages to West Coast of North America and Hawaii in summer and to the South Sea Islands in winter. Also takes a short domestic voyage when necessary.
1941(昭和16)年 May 24, 1941	5月24日 May 24, 1941	第24次遠洋航海に出帆。東京～基隆～アモイ～上海～横浜～東京(9月5日帰着)。戦前最後の遠洋航海となる。 Sets sail for 24 th long-distance voyage; Tokyo-Jilong-Xiamen-Shanghai-Yokohama-Tokyo (arrived on Sep.5) The last long-distance voyage before War.
	12月8日 December 8	太平洋戦争の勃発にともない、練習船の外洋航海を中止。日本丸は東京湾およびその近海で訓練。 As Pacific War begins, ocean-going sailing of training ships suspended. Nippon Maru drills in Tokyo Bay and its home waters.
1943(昭和18)年 January 22, 1943	1月22日 January 22, 1943	横浜の日本鋼管浅野船渠で帆装撤去。 Sailing gear removed at NKK Asano Dock, Yokohama.
	2月13日 February 13	神戸着。以後、内海訓練を兼ねて、若松～尼崎間の緊急物資(発電用石炭)の輸送に従事。 Arrives at Kobe. Hereafter engages in transporting emergency supplies (coals for power generation) between Wakamatsu and Amagasaki partly in inland drills.
	4月1日 April 1	逓信省海務院に航海訓練所設置。日本丸・海王丸は、東京高等商船学校の練習帆船大成丸、神戸高等商船学校の練習帆船進徳丸とともに同所に移管。 National Institute for Sea Training established under Maritime Transportation Agency of Ministry of Transportation and Communication. Nippon Maru and Kaiwo Maru belonged to the institute with TS Taisei Maru of Tokyo Nautical College and TS Shintoku Maru of Kobe Nautical College.
1944(昭和19)年 November, 1944	11月 November, 1944	海員需要増に対応し、実習生収容人員増員にともなう改装工事実施。 Responding to growing demand for sailors, refit executed in accordance with increasing cadets capacity.
1945(昭和20)年 May 19, 1945	5月19日 May 19, 1945	官制改正により航海訓練所は運輸省へ移管。 National Institute for Sea Training belongs to Ministry of Transportation by the amendment to government system.
	6月 June	瀬戸内海機雷封鎖により、訓練航海、緊急物資輸送が不可能になる。神戸港外敏馬沖に錨泊。 Because of blockade by underwater mine in Seto Inland Sea, training voyage and emergency supply transport becomes impossible. Anchored offshore Minume, outside the Port of Kobe.
	8月15日	敏馬沖で終戦を迎える。



この日本丸は2000トンを超える大型船ですが
外からはスリムに見えます
船内は、機能的に配置しているからでしょう広く感じました

今回紹介しなかった、興味深いところが沢山ありました
是非一度訪れてみてください
ロマンがいっぱい詰まっています